

1 所属する各学部・学科に向いているリスト

・商学部

- ① 夏目漱石『坊ちゃん』新潮文庫
- ② ヘミングウェイ『老人と海』新潮文庫
- ③ 『O・ヘンリ短歌集(1)』新潮文庫
- ④ 大塚久雄『社会科学における人間』岩波新書
- ⑤ 『金融迷走の10年—危機はなぜ防げなかったのか』日経ビジネス人文庫
- ⑥ 日本経済新聞出版社編『日経新聞の読み方』PHP新書
- ⑦ 吉川元忠『マネー敗戦』文春新書
- ⑧ 小倉昌男『経営はロマンだ』日経ビジネス人文庫
- ⑨ 丹羽宇一郎『人は仕事で磨かれる』文春文庫
- ⑩ 真山仁『ハゲタカ 上下』講談社文庫
- ⑪ 外山磁比古『思考の整理学』ちくま文庫
- ⑫ シュローサー＝ウィルソン『おいしいハンバーガーのこわい話』草思社
- ⑬ 藤沢晃治『理解する技術～情報の本質が分かる～』PHP新書
- ⑭ 岩田宗之『議論のルールブック』新潮新書
- ⑮ 大野晋『日本語の教室』岩波新書

・経済学部

- ① 梶井厚志『戦略的思考の技術』中公新書
- ② 我妻栄『法律における理屈と人情(第二版)』日本評論社
- ③ 川北稔『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書
- ④ 丸山真男『「文明論之概略」を読む』岩波新書
- ⑤ 内田義彦『社会認識の歩み』岩波新書
- ⑥ 大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書
- ⑦ 堤未果『ルポ 貧困大国アメリカ』岩波新書
- ⑧ 半藤一利『昭和史』平凡社ライブラリ

・外国語学部

<英米学科>

- ① 石原真弓『1日3分はじめての英語日記』中教出版
- ② 鈴木孝夫『ことばと文化』岩波新書
- ③ 斎藤兆史『これが正しい！英語学習法』（ちくまプリマー新書）筑摩書房
- ④ 米山達郎『ネイティブ式英語リーディング入門』研究社
- ⑤ トミー植松『日本人の不思議な英語』丸善
- ⑥ **Culips**『聴いてナットク！英語 Q&A』リント
- ⑦ 佐久間治『英語の不思議再発見』筑摩書房
- ⑧ 鶴田庸子（他）『英語のソーシャルスキル』大修館
- ⑨ C.S.デイヴィス、J.レヴィット、三輪伸春（他）訳『英語史で分かるイギリスの地名一地名で楽しむイギリスの歴史、文化、言語』英光社
- ⑩ 篠田颯子（他）『英語リスニング・クリニック』研究社

<東アジア学科>

- ① 増田忠幸『韓国語のかたち』白水社
- ② 増田忠幸『韓国語のしくみ』白水社
- ③ 池田巧『中国語のしくみ』白水社
- ④ 木村英樹『中国語はじめての一步』ちくま新書
- ⑤ 仲尾宏『朝鮮通信使一江戸日本の誠信外交』岩波新書
- ⑥ 木村幹『韓国現代史一大統領たちの栄光と蹉跌』中公新書
- ⑦ 西村克仁『日本は中国でどう教えられているのか』平凡社新書
- ⑧ 山崎豊子『大地の子(1)～(4)』文春文庫

・社会福祉学部

- ① 湯浅誠『反貧困』岩波新書
- ② 広井良典『ケアを問いなおす』ちくま新書
- ③ 竹内敏晴『声が生まれる』中公新書
- ④ 大江正章『地域の力』岩波新書
- ⑤ 川崎道夫『あそびのひみつ』ひとなる書房
- ⑥ 池田充裕・山田千明編『アジアの就学前教育』明石書店
- ⑦ 山野良一『子どもの最貧国・日本』光文社新書
- ⑧ 阿部彩『子どもの貧困 日本の不公平を考える』岩波新書
- ⑨ 柏木恵子『子育て支援を考える 変わる家族の時代に』岩波ブックレット
- ⑩ アリスカイパーズ著・八木明子訳『冷蔵庫のうへの人生』文藝春秋
- ⑪ 椎名篤子『「愛されたい」を拒絶される子どもたち』大和書房
- ⑫ 福沢諭吉・斎藤孝訳『現代語訳 学問のすすめ』ちくま新書

2 楽しみのための本のリスト

真保裕一『ホワイト・アウト』
田中芳樹『創竜伝』
池井戸潤『オレたちバブル入行組』
綿矢りさ『蹴りたい背中』
山田真哉『大生会計士の事件簿』
京極夏彦『姑獲鳥の夏』
赤川次郎『三毛猫ホームズの推理』
吉川英治『三国志』
司馬遼太郎『竜馬がゆく』
吉野源三郎『君たちはどう生きるか』
佐高 信『青春読書ノート：大学時代に何を讀んだか』
なだいなだ『いじめを考える』
金子 郁容『ボランティア：もうひとつの情報社会』
秦 辰也『ボランティアの考え方』
暉峻 淑子『豊かさとは何か』、『豊かさの条件』
村上 春樹『レキシントンの幽霊』、『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
石牟礼道子『苦海浄土』
鎌田 慧『ドキュメント人間』
林 ただ夫『わがいのち月明に燃ゆ』
豊田 充『葬式ごっこ 八年後の証言』
井村 和清『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』
高史明『生きることの意味』
椎名 誠『岳物語』、『岳物語（続）』
山田 詠美『ぼくは勉強ができない』
加藤 秀俊『独学のすすめ：現代教育考』
谷川 浩司『集中力』
羽生 善治『決断力』
竹内 均『科学的思考とは何か』
佐藤忠男『論文をどう書くか：私の文章修業』
池谷 裕二『記憶力を強くする』
夏目漱石『ころも』、『三四郎』、『草枕』
芥川 龍之介『羅生門』、『鼻』、『蜘蛛の糸』、『杜子春』
三島 由紀夫『金閣寺』、『仮面の告白』
森 鷗外『舞姫』、『阿部一族』

島崎 藤村『破戒』、『夜明け前』
太宰治『人間失格』
大岡 昇平『野火』
柳田 国男『遠野物語』
火野 葦平『麦と兵隊』
中島 敦『山月記』
大平 健『純愛時代』、『やさしさの精神病理』
森住 明弘『環境とつきあう 50 話』
熊沢 誠『女性労働と企業社会』
山田 昌弘『パラサイト・シングルの時代』
小柴 昌俊『ニュートリノの夢』
斎藤 成也『日本列島人の歴史』
瀬戸 賢一『日本語のレトリック—文章表現の技法』
出口 治明『人生を面白くする 本物の教養』
曾野 綾子『人間の分際』
山田 ズーニー『伝わる・揺さぶる!文章を書く』
富山 和彦『なぜローカル経済から日本は甦るのか』
金井 壽宏『働くひとのためのキャリア・デザイン』
沼上 幹『組織戦略の考え方 ——企業経営の健全性のために』
トルストイ『戦争と平和』
ドストエフスキー『罪と罰』
カフカ『返信』
D・カーネギー『人を動かす』、『リーダーになるために』、『道は開ける』、『人を生かす組織』
シェイクスピア『ロミオとジュリエット』、『マクベス』、『リア王』、『ハムレット』
ダニエル・デフォー『ロビンソン・クルーソー』
ジェイン・オースティン『高慢と偏見 (自負と偏見)』、『エマ』、『分別と多感 (いつか晴れた日に)』、『説得』
シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』
エミリー・ブロンテ『嵐が丘』
チャールズ・ディケンズ『オリヴァー・ツイスト』、『クリスマス・キャロル』
E・S・ガードナー『奇妙な花嫁』
オスカー・ワイルド『幸福な王子』
ステューヴンソン『ジキル博士とハイド氏』
ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
E・M・フォスター『眺めのいい部屋』、『ハワーズ・エンド』、『インドへの道』

ジョン・スタインベック『二十日ネズミと人間』、『怒りの葡萄』
ジョージ・オウエル『動物農場』
サマセット・モーム『人間の絆』、『月と六ペンス』
アガサー・クリスティ『アクロイド殺人事件』、『ナイル川殺人事件』
エドガー・アラン・ポー『モルグ街の殺人』、『アッシャー家の崩壊』
マーク・トウェイン『トムソーヤーの冒険』、『ハックルベリー・フィンの冒険』
スコット・フィツジェラルド『偉大なるギャツビィ』
ウィリアム・フォークナー『八月の光』
アーネスト・ヘミングウェイ『老人と海』、『武器よさらば』、『誰のために鐘は鳴る』
レイモンド・チャンドラー『大いなる眠り』
アリスティア・マクリーン『ナヴァロンの要塞』
J・D・サリンジャー『ライ麦畑で捕まえて』
ロバート・ラDRAM『暗殺者』
ジェフリー・アーチャー『ケインとアベル』
フランクル『夜と霧』
ポー『黒猫』
モーム『人間の絆』
スタンダール『赤と黒』
ジイド『狭き門』
ボーヴォワール『第二の性』
魯迅『阿Q正伝』
金芝河『五賊』
張仲忱『最後の宦官 小徳張』
カミュ『ペスト』、『異邦人』
リチャード・ドーキンス『利己的な遺伝子』
ツイアビ『パパラギ はじめて文明を見た南海の酋長の演説集』
T・ギロビッチ『人間この信じやすきもの一迷信・誤信はどうして生まれるか』
ジョン・ブロックマン『2000年間で最大の発明は何か』
レイチェル・カーソン『沈黙の春』
バルザック『知られざる傑作』
フロイト『精神分析入門』
エリクソン『幼児期と社会』
シュライバー『失われた私』
プーレ『人間的時間の研究』
グルダ『グルダの真実』